

対策区分	事業
【知る】 ◆ 鳥獣の生息状況や被害の実態を把握するための調査・情報収集	(1) ツキノワグマ生息状況調査〔10,419千円〕 - 効果的な対策につなげるための新たなモニタリング手法の検討（山大と連携） (2) 出没情報の即時把握・県民への注意喚起〔6,688千円〕 - アプリを用い市町村と連携して、出没情報を速やかに発信〔748千円〕 - クマ出没に対する注意喚起のチラシ全県全戸に配布〔5,334千円〕
【守る】 ◆ 人の日常生活圏への侵入防止	(3) 人とクマのすみ分けの推進〔199,403千円〕 - クマの誘引物となる不用果樹伐採への支援〔51,666千円〕 - 藪の刈払い等への支援〔15,000千円〕 - 県管理河川における藪の刈払いの実施〔59,985千円〕 - 林縁部の緩衝帯整備【農林】〔50,000千円〕 - AIカメラ等を活用した誘因源、侵入経路等の把握・分析〔10,700千円〕 - 広葉樹の病害虫被害防除による生息環境の保全【農林】〔1,125千円〕 (4) クマ対策に係る専門家の派遣〔10,262千円〕 - 市町村・学校・保育施設等を対象にした研修会等の実施〔8,172千円〕 - 市町村向けの緊急銃猟訓練の実施〔2,090千円〕 (5) 農作物の被害防止に関する支援〔165,071千円の一部〕 - 電気柵等の設置への補助、ICTわな等の購入への補助【農林】
【捕る】 ◆ 鳥獣の個体数を適正に管理するため、過剰な個体を捕獲し、被害を軽減	(6) 市街地出没対応〔46,514千円〕 - クマ対策プロテクターを用いた現場対応力の強化【警察本部】〔3,683千円〕 - 緊急銃猟に係る市町村支援〔42,831千円〕 【うち9月補正6,914千円】 ①装備品の購入等、出没時の体制構築事業への補助 ②保険料、日当等の捕獲事業への補助 ③市街地出没時のパトロールへの補助 (7) 春季捕獲の強化〔12,950千円〕【うち9月補正2,000千円】 - 個体数削減や若手ハンター育成のため春季捕獲を強化（主要生息域での銃猟等）※令和9年春季は来年度分として、保険料・事務経費は9月補正分として計上。 (8) 麻酔銃取扱者の配置の強化〔2,647千円〕 - 市街地出没時等の対応のため、3名の麻酔銃取扱者を3名に増員 (9) 猟友会等への支援〔8,189千円〕 - 捕獲等に必要な物品購入等への補助〔5,910千円〕 - 担い手の確保等に必要な経費への補助〔2,279千円〕
【体制】 ◆ 機動的・広域的に実働できる持続可能な被害防除体制の整備	(10) 市町村と連携した「中間支援組織」の設置の検討〔18,532千円〕 (11) 市町村における捕獲実務者（ガバメントハンター）配置への支援〔13,444千円〕